

※今月のテーマは「くすりの基礎知識」です。

人の体には、病気を予防し、病気や怪我等から回復するための力「自然治癒力」が備わっています。くすりは「自然治癒力」が十分に働かない時に、病気やけがの回復を助け、病気の原因を取り除くために使われます。

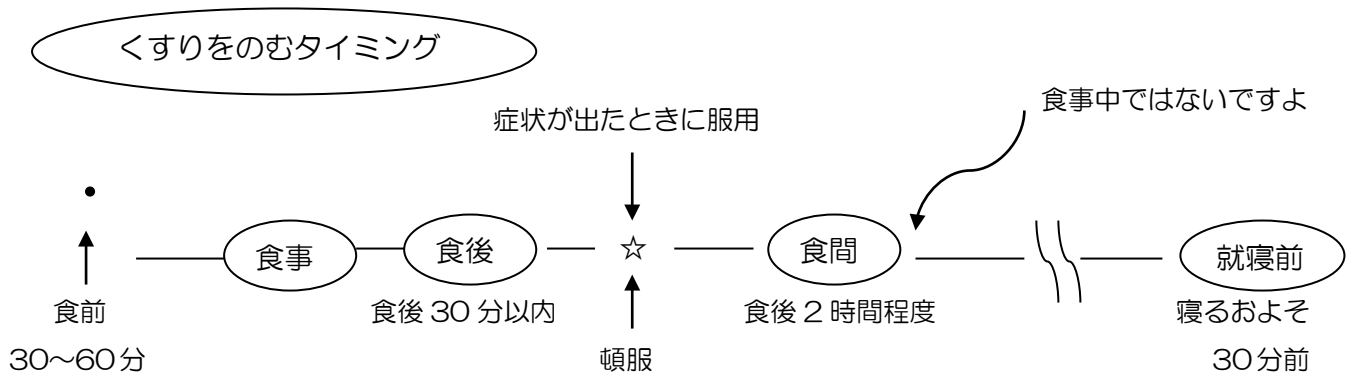
—くすりには主作用と副作用があります—

くすりの本来の目的である病気を治したり、症状を軽くしたりする働きのことを「主作用」、くすりの本来の目的以外の好ましくない働きのことを「副作用」といいます。

※注意すべきくすりの副作用

しっしん、じんましん、ふるえ、元気がない等、いつもとちがう様子が見られた時は、医師・薬剤師に相談しましょう。以下にあてはまるときは、あらかじめ医師・薬剤師に相談して下さい。

- ・アレルギーが出たことがある
- ・くすりの副作用を経験している



Q：食欲がないときにくすりだけのませでいいの？

A：食事がとれなくても、くすりはのませして下さい。
くすりだけでのませでよいか、先に薬剤師に相談しておくで安心です。

Q：くすりをのませ忘れたときは？

A：のませ忘れたからといって、絶対に2回分を一度に与えてはいけません。くすりの種類によってのませ忘れたときの対応が異なるので、のませ忘れた時の対処方法をあらかじめ医師・薬剤師にきいておきましょう。

